

令和5年版

佐賀県環境白書

環境白書の刊行にあたって

本県は、有明海と玄界灘という特性の異なる二つの海に面し、内陸部は緑豊かな山々、肥沃な平野が広がるなど、多彩な自然環境を織り成しています。

佐賀の自然、環境の豊かさは、県民の心を豊かなものにし、また、安らぎを与えてくれます。弥生人の声が聞こえるといわれる吉野ヶ里遺跡や陶磁器などの全国に誇れる佐賀の歴史や伝統ある産業は、この豊かな環境の中から生まれてきました。

このような豊かな佐賀の環境、文化を守り、育んでいくための基盤である「人づくり」を積極的に推進することで、森川海へとつながる環境を次の世代へ繋げていきたいという想いを込め、令和2年度に策定した「第4期佐賀県環境基本計画」では、「～森川海へとつながる佐賀の豊かな環境を未来へ～」を計画のキャッチフレーズとし、佐賀県の目指す姿を実現するための施策を展開していくこととしています。

この「令和5年版佐賀県環境白書」は、令和4年度の本県の環境の状況や県が実施した環境保全に関する施策について取りまとめたものです。

本書が、県民の皆様の環境に対する理解を深め、恵み豊かな佐賀の環境を将来の世代にしっかりと引き継いでいくための具体的な行動の一助となれば幸いです。

令和6年7月

佐賀県県民環境部長 諸岡 泰輔

令和5年版環境白書・目次

第1部 総説

第1章 佐賀県の概要	1
第2章 環境政策の指針	3

第2部 環境の現況と対策

第1章 地球温暖化対策・再生可能エネルギー等の推進	5
第1節 地球温暖化対策、省資源・省エネルギーの推進	5
1 温室効果ガス排出削減と吸収源対策（緩和策）	7
2 オゾン層保護・酸性雨対策	13
3 森林整備等を通じた吸収源対策等の推進	15
4 再生可能エネルギーの普及促進	15
5 まちづくりを通じた吸収源対策等の促進	19
6 環境意識の向上	20
第2節 気候変動の影響への適応	20
第3節 再生可能エネルギー等の推進	24
第2章 安全・安心で快適な生活環境の保全	26
第1節 大気環境の保全	26
1 大気汚染防止対策	26
2 悪臭対策	50
3 騒音・振動対策	51
4 光害対策	63
第2節 水環境・土壌環境の保全	64
1 水環境の保全	64
2 土壌環境の保全	103
3 地盤環境の保全	104
第3節 玄海原子力発電所周辺環境安全対策	111
1 玄海原子力発電所周辺の環境放射能調査	111
2 温排水影響調査	119
第4節 化学物質等による環境リスクの低減	126
1 化学物質の適正管理・適正利用の推進	126
2 食品中の有害物質や残留農薬の調査の実施	132
第3章 循環型社会の実現	134
第1節 廃棄物の現況	134
1 一般廃棄物	134
2 産業廃棄物	137
第2節 循環型社会の形成促進～まなぶ、つながる、ささえる～	140
1 第5次佐賀県廃棄物処理計画	140
2 循環型社会の形成促進 施策の推進「まなぶ」「つながる」	141
3 安全・安心な廃棄物対策 施策の推進「ささえる」	145
4 各種リサイクル法に基づく取組の推進	147
第4章 多様な自然環境の保全・活用	151
第1節 生物多様性の保全・活用～生物多様性佐賀県戦略～	151
1 現況	151

2 情報の集約による現状把握	153
3 保全・維持が必要な種・生態系の選定	154
4 生息・生育環境の保全・再生・創出	155
5 普及と活用	159
第2節 鳥獣の保護	165
1 現況	165
2 対策	165
第3節 有明海の再生	168
1 現況	168
2 原因究明のための調査研究等の推進、再生策の検討	169
3 有明海再生に関する佐賀県計画の推進	169
4 有明海再生のための環境保全活動の推進	170
第4節 地域環境の保全と再生	171
1 現況	171
2 多様な森林（もり）・緑づくり	172
3 農地の保全と活用	175
4 水と緑のネットワーク	177
5 農地等の保全	178
6 干潟・海岸域などの保全	179
第5節 自然環境の利活用	179
1 生物多様性の活用	179
2 地域資源の利活用	179
第5章 環境を考えて行動する人づくり	182
第1節 環境教育・環境学習等の推進	182
1 環境について教えることのできる人材の育成と活用	182
2 環境に関するプログラムの整備と活用	184
3 県民に開かれた環境学習の機会の提供と活用	184
4 ライフステージに応じた施策	189
第2節 各主体のネットワークによる環境への取組の推進	190
1 県民・CSOの環境保全活動の推進とネットワーク化の推進	190
2 事業者の自主的活動の推進	192
3 佐賀県の事業者としての環境保全率先行動の推進	196
第6章 環境を考えた地域づくり	201
第1節 環境情報の充実と発信	201
1 化学物質環境実態調査	201
2 日韓海峡沿岸環境技術交流事業	201
3 環境関連情報サイト	203
第2節 危機管理体制の充実	204
1 光化学オキシダント	204
2 微小粒子状物質（PM _{2.5} ）	204
3 異常水質	205
4 地下水汚染	205
第3節 多様な環境保全の手法の活用	206
1 特定工場における公害防止組織の整備	206
2 事業者の環境対策に対する助成	208

3 予防的・予見的手法の推進	208
4 環境問題による被害の救済措置の推進	210
第4節 環境関連・環境負荷の少ない産業の振興	216
1 農林水産業	216
2 第2次産業・第3次産業	219
第5節 豊かで潤いのある地域づくり	220
1 緑化の推進とゆとり空間の創造	220
2 佐賀らしい景観の保全と創造	221
3 歴史的・文化的遺産の保存と活用	223
4 空き家対策	226
第6節 環境負荷低減に向けた生活圏・交通体系づくり	227
1 都市計画区域の指定及び都市計画区域マスタープランの策定	227
2 交通基盤整備	228
3 環境負荷低減に向けた住環境対策	231
第7節 広域的取組（共同調査研究など）	233
1 国際的連携の推進	233
2 諸外国の活動への協力	233
3 海洋ごみ対策のための調査協力	234
第3部 計画の推進・進行管理	
1 環境指標	235
2 環境日誌	236
参考資料	
1 佐賀県環境基本条例	237
2 環境関係法律・条令体系図	244